

大雨に備え、洪水対応演習を行いました

草木ダム管理所では、梅雨や台風等による大雨に備えて、洪水期（7～9月）前に毎年全職員で洪水対応演習を行っています。今年は、5月9日（木）・10日（金）の2日間にわたり、演習上の「洪水」として、草木ダム洪水調節計画の流入量最大1,880m³/秒・最大放流量640m³/秒を上回り、非常用放流設備からの放流を行う規模となる異常洪水を想定して行いました。

ホットラインを使い、みどり市と桐生市に浸水被害発生の可能性に関する情報の伝達を行ったり、警報局舎を一つ一つ巡視しながら無線を使った送受信の訓練を行ったりするなど、全体を通し、非常参集訓練、下流河川巡視及び警報巡視訓練、放流前設備点検訓練、電話やFAXによる放流通知やダム管理状況等の伝達訓練、異常洪水時防災操作訓練等を実施しました。ダムからの放流等に関する通知の伝達訓練では、国交省、群馬県、みどり市、桐生市、桐生警察署、桐生市消防本部等の関係機関にもご協力いただきました。

草木ダム管理所では、日頃の施設点検や維持管理と、こうした訓練を積むことにより、いつでも的確に洪水に対応できる態勢を整えています。今後も洪水調節を適切に行うことにより、ダム下流地域の氾濫被害の防止、軽減に努めていきます。

